金沢ＫＯＧＥＩアクションプラン（仮称）　骨子（案）について
パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方について

募集期間：令和元年12月3日（火）～令和2年1月3日（金）
意見：意見者数　4人　　意見数　5件

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	人生70年から100年への流れの中で、「若い」の定義が変わってきている。職人までにはなれずとも、人生100年時代の60歳からの30年間の趣味にできるプラットフォーム、学校、弟子制度の形成が重要なのではないか。人生100年時代の工芸を考えてはどうでしょうか。	計画では、工芸を身近に感じる機会の創出を推進することとしており、ご意見を参考に、様々な施策を研究・検討しながら計画を推進していきます。
2	10年後の次世代を牽引、指導できるような中堅を育てることが最も大事である。そのために、現在20～40代の作家や学生、教員、指導者をこの政策の中心に据えることが必要である。	計画では、「作り手」の継続的な活動や、工芸に携わる多様な人が活躍できる環境づくりを支援するこことしており、計画を推進する上で配慮していきます。
3	未来に向かう次世代の為のプランにしてほしい。そのために、10代の子供たちに対する体験以上の教育の提供が必要である。	計画では、次世代が工芸品に触れる機会を創出することとしており、計画を推進する上で配慮していきます。
4	伝統工芸がさらに発展していくためには、違った文化的要素を取り入れなければ発展はしないと考える。「工芸が世界に羽ばたくまち」の構想は、金沢市が発展していく要素を大いに備えている。アクションプランから街の発展につながるきっかけが生まれることを期待する。	ご意見を参考に、様々な施策を研究・検討しながら計画を推進していきます。
5	モノからコトへと消費が移行してきている社会情勢の変化への新たな対応として、工芸の体験、ワークショップを充実させてほしい。 特に、首都圏や海外での体験、ワークショップの展開にも意欲的に取り組んでほしい。	計画では、「作り手」の技を活かしたコトづくりを強化することとしており、計画を推進する上で配慮していきます。